

平標山登山道整備2026

活動報告

・

参加者アンケート結果

平標山 登山道整備：実施概要

実 施 日 : <事前学習> 2026年7月10日 (金) 19:00-20:00

<整備本番> 2026年7月17日 (金)

主 催 : 群馬県自然環境課 | 谷川岳エコツーリズム推進協議会

協 力 : 環境省谷川管理官事務所 | みなかみ町観光商工課 | 株式会社 山屋

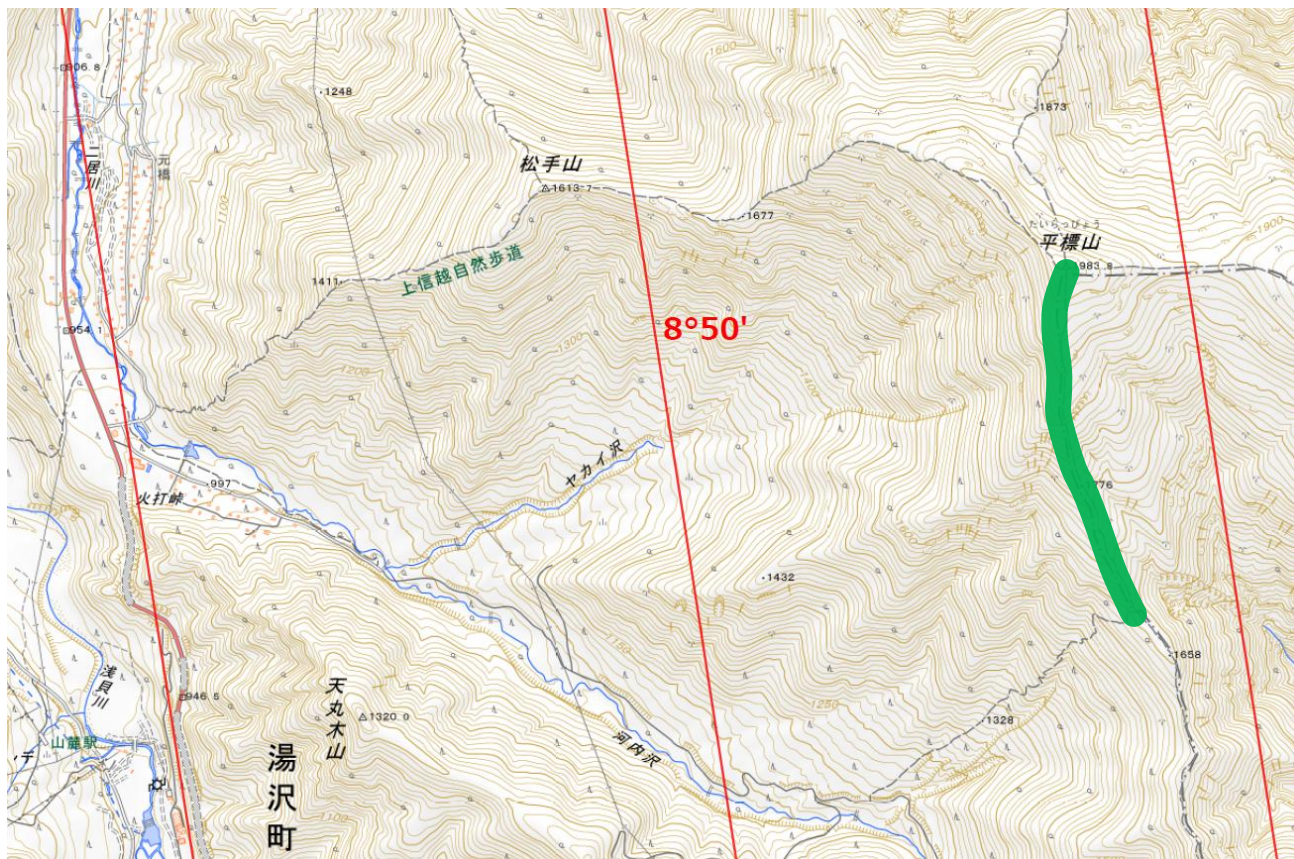
実 施 場 所 : 平標山の家から山頂直下までの区間 (下図 緑色のラインの部分)

実 施 概 要 : ① 土砂が詰まり機能不全に陥っている側溝を掘り出す (全36カ所のうち、優先度高い箇所)
② 側溝から掘り出した土砂や、付近にある大きな石などをステップ構築班に歩荷する
③ 大雪・極端な融雪により破損した木製階段のあった場所に植生土壌を設置する

募 集 方 法 : 群馬県公式WEBサイト 及び YAMAP公式アカウントにて 一般参加者を募集した

参 加 者 : **計 33 名**

⇒ (一般) 18名 (関係者) 15名



■ 実施報告- 1 回目：ぬかるみ対策



<活動場所>
山頂直下のぬかるみポイント

<現状>
晴天時であっても水たまりが残ってしまい
濡れることを嫌がる登山者が登山道脇を
歩くことにより植生後退が進んでいた

<活動内容>
水切り
ステップ工作
石埋設作業

◇ 整備前



- ・ 雨水に加え、恐らく左側の斜面からも水がしみだすことが考えられる
- ・ 水の流れ出る道が無く、晴れていても常にぬかるんでいる箇所
- ・ 水を嫌がる登山者が登山道の外を歩くため、周囲の植生が後退し、道の拡大が進んでいる

◇ 整備中



- ・ 山頂にある小砂利／浮石を大量に歩荷する
- ・ ぬかるんだ土の上に砂利を撒き、安定するように何度も踏み固める
- ・ 倒木や、融雪で流された木道を配置することで、土留めや足場にする

■ 実施報告 1 回目：ぬかるみ対策

◇ 整備後



【使用した資材】

- ・ 山頂の石
- ・ 融雪により流された木道や倒木
- ・ 土嚢袋（石の運搬）

【期待する効果】

- ・ 雨が降ったとしても、石や木道により足場が確保される（靴が濡れない）ことで登山道を外れて歩く人が少なくなる
⇒ 植生の後退に歯止めをかけたい

【今後】

- ・ 定期的なモニタリングをする（特に大雨の降った後の道の状況を確認する）

■ 実施報告- 1 回目：植生土嚢



<活動場所>

元々、第1ベンチが設置されていた場所

<現状>

2024-2025年の大雪の融雪により
ベンチが流された結果、土留めがなくなり
土壌の流出～植生衰退が懸念される箇所

<活動内容>

側溝から掘り出した土を使用して
ヤシ土嚢を設置する

◇ 2025年5月の融雪時に崩れたベンチ跡



- ・ 2024-2025の冬に降り積もった大雪が一気に融雪した際、雪の力で木製ベンチは崩壊した
- ・ 木製階段も大きく斜めに歪んだため歩くのが非常に危険であり、木製ベンチ跡を歩くことになった

◇ 整備前



- ・ 1年経過後、登山者の踏圧等により大きく植生が後退、土壌の流出に歯止めがかからない状況
- ・ 登山者の安全を確保した上で、土壌の流出/植生後退をとめる策を早急に講じることが求められる

■ 実施報告- 1 回目：植生土嚢

◇ 整備中



- ・ 植生土嚢を配置する位置を相談して決める
- ・ 植生土嚢を配置する箇所を平らにならし、除けた土を土嚢へ入れる
- ・ どの太郎を使って植生土嚢に土や石を満タンに入れて縛り、設置する

◇ 整備後



【使用した資材】

- ・ ヤシ土嚢、どの太郎
- ・ 側溝から掘り起こした土、石
- ・ 登山者が立ち入らないようにするための杭、掲示物

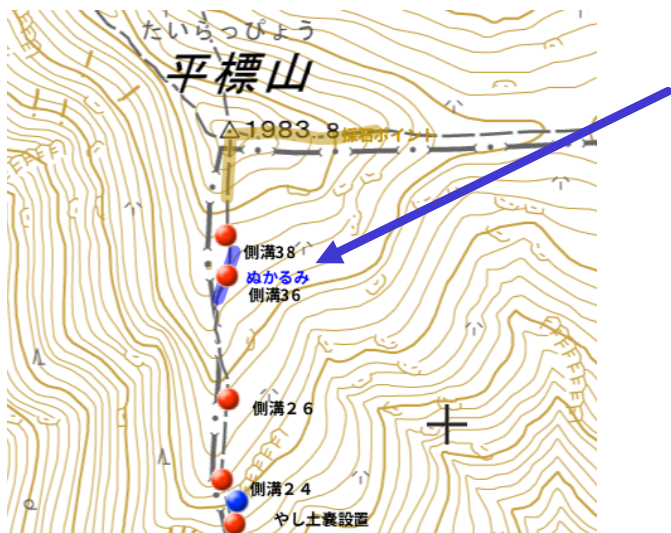
【期待する効果】

- ・ 植生土嚢が土留めの役割を果たすとともに、植生が徐々に回復することに期待する

【今後】

- ・ 定期的なモニタリングをする（特に大雨の降った後の道の状況を確認する）

■ 実施報告- 1 回目：側溝掘り



<活動場所>
側溝38の掘り起こし

<活動内容>
側溝から土砂を掘り出す
土嚢袋に詰めて歩荷班に渡す

<歩荷班>
側溝38から出た土砂／碎石を
ぬかるみ対策班へ歩荷する

◇ 作業前～作業中



- ・土や石が詰まり水が流れなくなった側溝
- ・行き場を失った水が登山道上を流れ、水を嫌う登山者が登山道横を歩くため植生後退を招く

- ・土が非常に硬く、ほぐすまでが大変だった
- ・強く笹の根が張り巡らされ作業は難航した
⇒笹の根を切るハサミ等があると良い

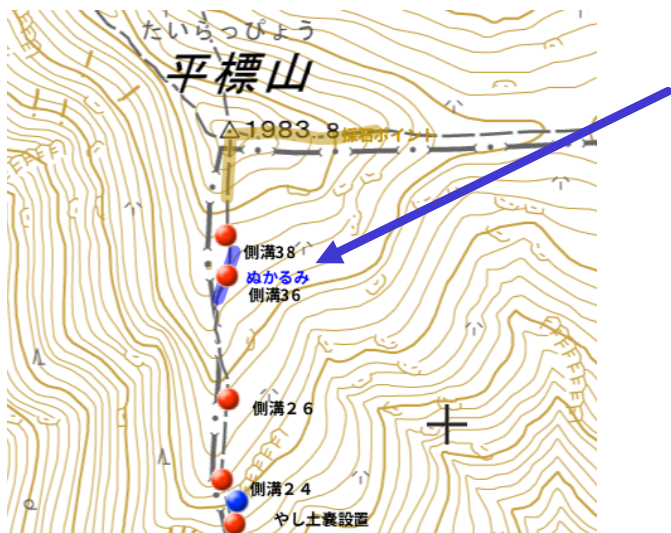
◇ 作業後



- ・上部から流れて来た雨水は側溝を流れ、沢に向かって流れている流出口から排水される仕組み

【使用資材】じょれん、剣スコ、のこぎり、鋏
【期待する効果】水は側溝内を流れる
【今後】定期的なモニタリングと側溝機能の回復

■ 実施報告- 1 回目：側溝掘り



<活動場所>
側溝36の掘り起こし

<活動内容>
側溝から土砂を掘り出す
土嚢袋に詰めて歩荷班に渡す

<歩荷班>
側溝36から出た土砂／碎石を
ぬかるみ対策班へ歩荷する

◇ 作業前



- ・土や石が詰まり水が流れなくなった側溝
- ・行き場を失った水が登山道上を流れ、水を嫌う登山者が登山道横を歩くため植生後退を招く

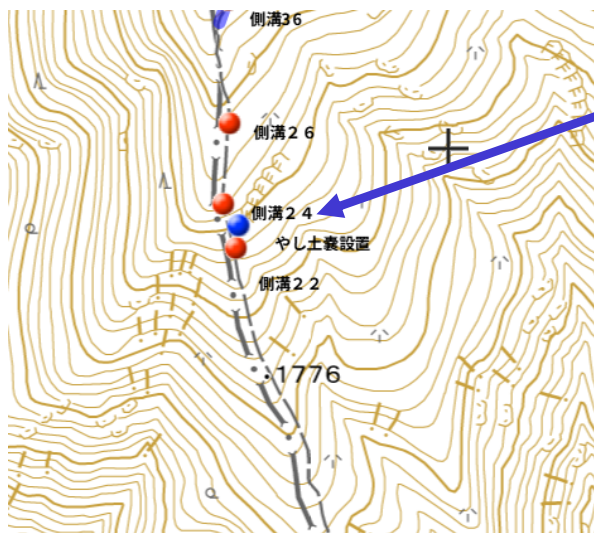
◇ 作業後



- ・上部から流れて来た雨水は側溝を流れ、沢に向かって流れている流出口から排水される仕組み

【使用資材】じょれん、剣スコ、のこぎり、鋏
【期待する効果】水は側溝内を流れる
【今後】定期的なモニタリングと側溝機能の回復

■ 実施報告- 1 回目：側溝掘り



<活動場所>
側溝24・22の掘り起こし

<活動内容>
側溝から土砂を掘り出す
土嚢袋に詰めて歩荷班に渡す

<歩荷班>
側溝24・22から出た土砂／碎石を
植生土嚢班へ歩荷する

◇ 作業前



◇ 作業後



- ・2024-2025の冬に降り積もった大雪が一気に融雪した際、雪の力で木製ベンチは崩壊した
- ・木製階段も大きく斜めに歪んだため歩くのが非常に危険であり、木製ベンチ跡を歩くことになった

◇ 作業前



◇ 作業後



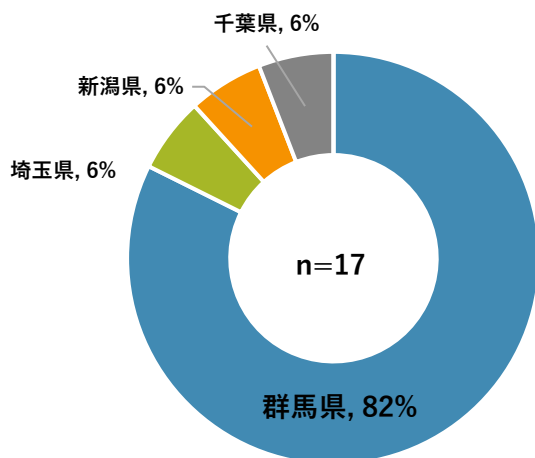
- ・1年経過後、登山者の踏圧等により大きく植生が後退、土壌の流出に歯止めがかからない状況
- ・登山者の安全を確保した上で、土壌の流出/植生後退をとめる策を早急に講じることが求められる

■ 実施報告- 1 回目：歩荷班 | 活動全体

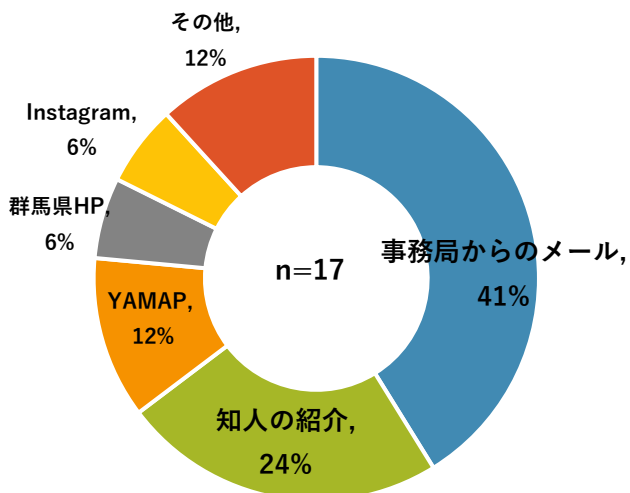


平標山 登山道整備：1 回目 - 参加者アンケート

【1】居住地



【2】参加のきっかけ



【3】参加しようと思った理由

* 自由記述

昨年、大変素晴らしい体験ができたこと

昨年も参加し、引き続き整備に携わりたいと思ったため

平標山が好きだから

主脈を縦走した時改めて整備された道がとても有り難くお礼の気持ちで参加を決めました

登山道がどのように整備されているのか知りたかったことと、日頃の感謝

以前から登山整備のボランティアに興味があったので

登山道をよりよくしたいので

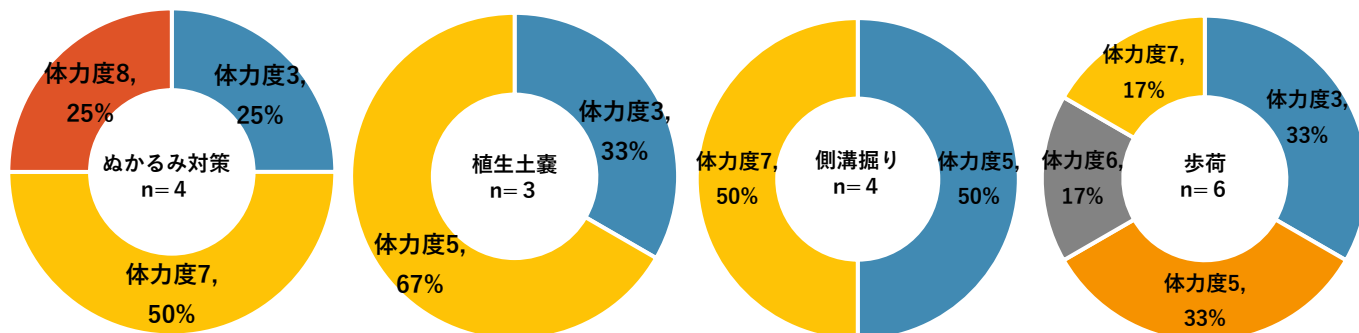
登山道整備の実際を経験してみたかった為

登山道整備に興味を持ったため

* 参加者からの自由記述欄は、回答者の特定に繋がらないよう、抜粋・修正を加えております

平標山 登山道整備：1 回目 - 参加者アンケート

【1】活動内容 – 主に担当した活動の体力負荷について



【2】活動内容 – 特に大変だった内容

* 自由記述

■ぬかるみ対策：

色々大変でしたが、多くの方々と関わりながら活動できたことに感謝

石集め

石、砂利運搬

■植生土嚢：

少しだけですが、板や石を運んだ時は重かった

■側溝掘り：

根が張り巡っており、土を柔らかくするのに時間がかかった

笹の根が取りにくかった／強かった

側溝の中に笹が深く根を張り、除去が大変でした

すごく大変だったということはなく、益々整備している道への有り難さに気付かせて頂きました

■歩荷：

歩荷の距離が前回から比べて短いから、少し楽すぎたように感じた
ただ、途中からは割と運ぶ距離も伸びて良かったかなと思います

土砂が思ったより重かった

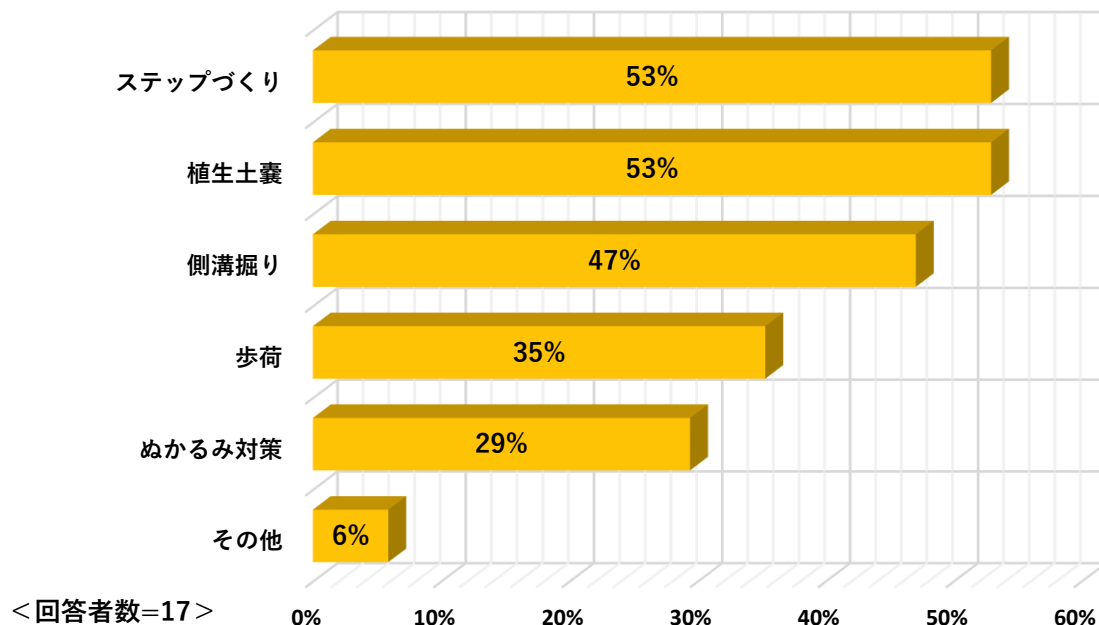
臨機応変に動けるようにすること

ちょうど良かったと思います！

平標山 登山道整備：1回目 - 参加者アンケート

【6】今後、体験／実施してみたい活動

* 複数選択可



【7】活動全体をとおして気づいたこと・ご意見

運営面

進行もスムーズでやりやすかったです

休憩の取り方も活動時間も普段の山行に比べたら無理なく行えました。
説明会の時にスライドよりも動画などを流しながら口頭で活動内容を説明出来るとさらに想像出来て良いのかなと思いました。

各班の人員配置

適正な人数配置だったと思う

作業箇所のスペースに応じて、人員配置を調整した方が良いと感じました。
作業スペースや道具の数が限られているため、本来の班と入れ替わりで人を入れると、人員過多になってしまう印象を受けました。

入れ替わった人はその間休憩する、と割り切って進めるのも一つの方法だと思いますが、体力や気力には個人差があるため、これといった正解はないように思います。

* 参加者からの自由記述欄は、回答者の特定に繋がらないよう、抜粋・修正を加えております

平標山 登山道整備：1 回目 - 参加者アンケート

【7】活動全体をとおして気づいたこと・ご意見

歩荷

発砲スチロールブロックの底上げを用意いただくとよいかと思います

歩荷の背負子がもう少し小型でも(重量とバランスと体力の調和)

側溝掘り

笹の深い根っこを切るために、のこぎりなどがあるともう少し楽だったかもしれません。

幅の狭い側溝や隙間から側溝を掘るのに、小さいスコップがあると作業効率が上がるのではないかな

根を切り取りやすくするため、大きめなハサミがあればより楽であったと思いました
プロの方にたくさん教わる事ができて、本当に楽しかったです。またぜひ参加させて頂きたいです

笹の根を切るためのノコギリ。側溝の横断部の土砂を書き出すための細長いシャベル

つるはし 鋤簾

その他

民間企業の参加もあって良いと思います

チェーンソー、草刈り機等機材のアピールも含め登山道整備を行い、作業全体の効率と企業の宣伝にもなるかと思います

作業前後の撮影をするにあたり自身のデバイスでの撮影に少し抵抗がありました

いっぽずつ、すこしずつ🌱

